

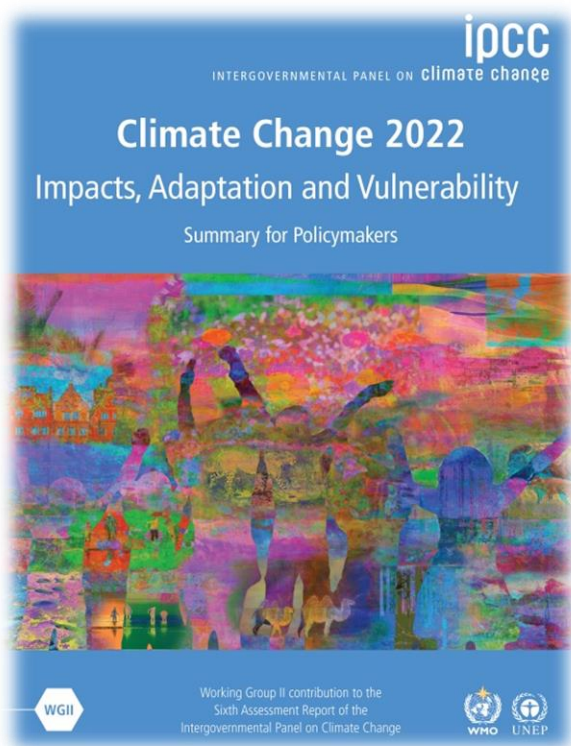
第8号 2022年3月

富山県気候変動適応センター

Newsletter

ニュースレター

第8号



IPCC 第2作業部会 第6次評価報告書の発表

「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の第2作業部会では気候変動に対する社会経済及び自然システムの脆弱性、気候変化がもたらす好影響・悪影響、並びに気候変化への適応についての評価を行っています。

その総会が2月14日から2月27日にかけて開催され、第6次評価報告書が発表されました。本号では、今回の報告書で明らかになったポイントについて紹介します。

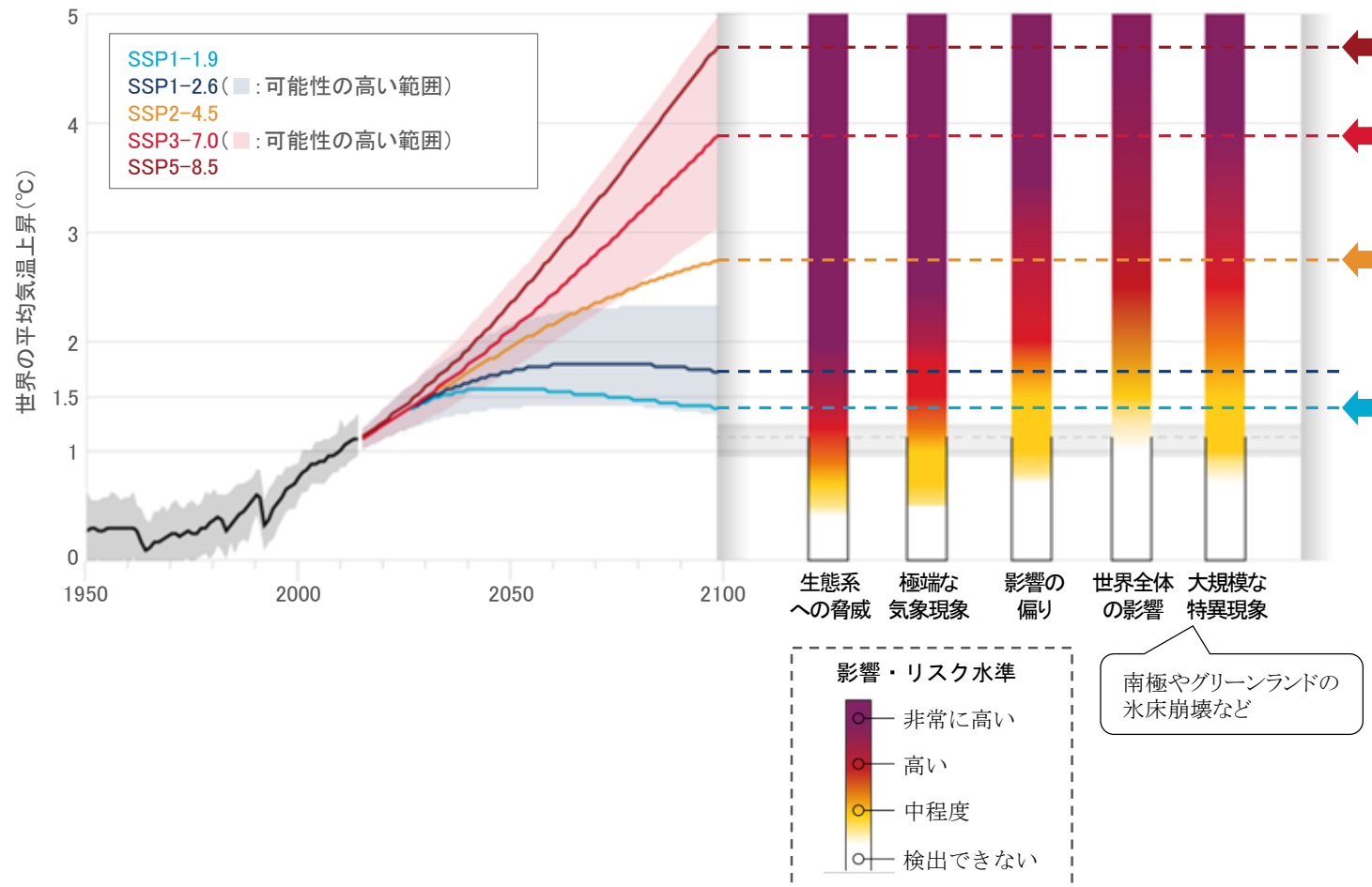
IPCC 第2作業部会報告書のポイント

POINT!! 今回の報告書では、「既に気温の上昇を抑えられないので、その影響に対応していかなければならない」ことが述べられています。



気温上昇に伴う影響・リスク

地球温暖化に関する懸念材料について、温度上昇に伴う影響やリスクが評価されました。



図(左)1850~1900年を基準とした世界平均気温の変化
 (右)低適応~適応なしを想定した場合の各懸念材料に対する影響・リスク
 出典:IPCC第2作業部会第6次評価報告書政策決定者向け要約の図(Figure SPM.3(a)(b))に当センターで加筆

将来予測に使用されたシナリオ

シナリオ	シナリオの概要
SSP1-1.9	持続可能な発展の下で気温上昇を1.5°C以下に抑えるシナリオ
SSP1-2.6	持続可能な発展の下で気温上昇を2°C未満に抑えるシナリオ
SSP2-4.5	中道的な発展の下で気候政策を導入するシナリオ
SSP3-7.0	地域対立的な発展の下で気候政策を導入しないシナリオ
SSP5-8.5	化石燃料依存型の発展の下で気候政策を導入しない最大排出量シナリオ

気温上昇を1.5°C付近に抑えると、気候変動の影響・リスクは大幅に低減するが、ゼロにはならない！

残った影響やリスクに対応する「適応策」が必要！



気温上昇が1.5°Cを超えて温暖化が進むと、気候変動の影響やリスクが大きくなり、適応策の効果が大きく低下する。

「緩和策」もより一層進めなければならない！



1.5°Cの気温上昇に有効な適応策

報告書では、私たちが取り組みやすく、1.5°C程度の気温上昇に対して効果的な適応策が挙げられています。



私たちが取り組みやすい効果的な適応策



節水

将来、降水量が減少し水不足となるリスクがあります。一人ひとりが節水に取り組み、水を効率的に使う社会を作ることが大切です。

再生可能エネルギーの導入

家庭でも複数の電力供給源をもつことが自然災害対策になります。もちろん緩和策としても有効です。



植樹・緑化

森林を管理することが洪水などの災害の被害低減につながります。都市の緑化はヒートアイランド対策になります。

身近なところから取り組もう！



環境科学センターの気候変動研究紹介

当センターで実施した、気候変動関連の研究の成果をご紹介します。

「温暖化による降雪の将来変化と消雪用地下水の合理的利用に関する研究」

冬季の消雪用地下水揚水設備の一斉稼働により、地下水位が大幅に低下する問題について、将来予測を実施しました。

その結果、産業革命以降気温が2℃上昇した将来においても、現在と同程度の地下水位の低下が起り、引き続き、地下水の節水が必要なことが明らかになりました。

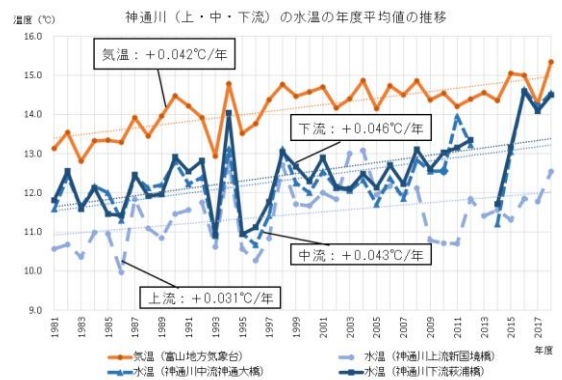
表 気温上昇した将来の地下水位低下量
(年最大低下量の平均)

現状	2℃上昇	4℃上昇
8.81m	8.73m	7.08m

「富山県における温暖化に伴う水質変動に関する研究」

県内の河川水質等への気候変動影響を検討するため、公共用水域(河川・海域)の過去約40年間の水温等の測定データを解析しました。

その結果、県西部から中部の河川を中心に、過去38年の間に約1.0～1.7℃の水温上昇、一部の沿岸海域についても、過去42年の間に約0.5～1.1℃の水温上昇が確認され、今後も気温上昇が続けば、さらなる水温上昇が懸念されます。



右図 神通川の水温の年度平均の推移

上記の研究については、令和4年2月9日に開催した、当センターの研究発表会で詳しく説明しています。今年度は「地球温暖化」や「SDGs」をテーマとして、中央大学の手計教授から「環境問題解決におけるSDGsの潮流」について講演いただくとともに、富山県気候変動適応センターの取組み紹介も行いました。



基調講演や成果発表の動画は
環境科学センターのHPで
視聴できるよ

↓↓動画はこちら↓↓



URL

<https://www.pref.toyama.jp/1730/kurashi/kankyoushizen/kankyou/r3seikahappyokai.html>

Newsletter ニュースレター 第8号

発行 富山県気候変動適応センター(富山県環境科学センター内)
Toyama Prefectural Climate Change Adaptation Center(TCCAC)

〒939-0363 富山県射水市中太閤山17-1

TEL:0766-56-2835 / FAX:0766-56-1416

URL:http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1730/kj00021662.html